

映像制作で新たな未来を ～「映像クリエイティブ」の拠点化～

県内外のさまざまな分野の「人」と「アイデア」がつながり、デジタル技術を使って新たな価値を生み出す「クリエイティブ産業」。県では、デジタル・クリエイティブ産業を育成し、新たなビジネスを生み出すためのさまざまな取り組みを進めています。

今回は、クリエイティブ産業育成の取り組みの1つである「映像クリエイティブ」の拠点化について紹介します！

◆「映像クリエイティブ」の拠点化とは？

県では、デジタル技術を使った国内外の映像作品が制作される「映像クリエイティブ」の拠点を目指しています。デジタル技術を扱う人材を育成し、事業者が集まって映像クリエイティブの拠点となることで、地域への経済効果をはじめ群馬県の魅力向上、さらには雇用の創出や観光誘客につなげるなど、新たな富や価値を創出することが期待されます。

Gメッセ群馬のスタジオ機能を強化！

デジタル映像制作に必要な環境整備を行うため、Gメッセ群馬の展示ホールの壁3面に可動式の「グリーンバック^{※1}」を整備予定！高さは約21[㍎]、正面のスクリーンの幅は約80[㍎]、左右は幅約40[㍎]となり、国内最大級です。広大なスペースで撮影することで、より迫力のある映像を制作できます。



国内最大級のグリーンバック ^{※2}

Gメッセ群馬ではこれまでも数多くの作品が撮影されてきましたが、スタジオとしての機能を強化することで、ますます映像作品が撮影しやすい環境をつくっていきます。

※1 グリーンバック…合成映像を撮影する際に使用される背景
※2 画像はイメージです



映像制作で新たな価値を

最先端のデジタル技術を持つ「映像クリエイティブ人材」を育成する他、映像制作に関わる人や企業を県内に呼び込み、世界に向けて発信できるよう取り組んでいきます。そして、デジタル×メディア×アート×技術を組み合わせ、群馬独自のクリエイティブ産業を創出していきます。



◆ロケ誘致で地域の魅力を引き出す

映像クリエイティブの拠点化に向け、県では映像業界における本県の認知度向上のため「ぐんまフィルムコミッション」を運営し、映画やドラマなど映像作品のロケーション撮影(ロケ)の誘致を積極的に行っています。



ロケを誘致すると？

映像作品の撮影には、関係者の宿泊や飲食などの他、作品の舞台となった土地や建物などのロケ地をファンが訪ねる「聖地巡礼」により、地域経済の活性化が見込めます。また多くの人が映画やドラマのロケ地を訪ね、その地域の風景や食を堪能することで地域のファンが増え、本県の魅力発信にもつながります。ロケ誘致は地域での持続的な観光振興の取り組みとして期待されています。



こんな作品も 群馬で撮影されました ～2022年(一例)～

- ドラマ「六本木クラス」
撮影場所：東部浄水場(千代田町)
- ミュージックビデオ 三代目 J SOUL BROTHERS from EXILE TRIBE 岩田剛典さん
「Only One For Me」
撮影場所：浅間家畜育成牧場(長野原町)
- ミュージックビデオ 日向坂46
「月と星が踊るMidnight」
撮影場所：ぐんま天文台(高山村)他



ロケ地紹介～毛無峠～

2004年に結成された本県出身の3人組バンド「back number」のミュージックビデオ「ベルベットの詩」は、毛無峠がロケ地。嬭恋村と長野県高山村の県境にまたがる峠で、標高は1,823[㍎]。「最果て感」を求めて多くの観光客が訪れます。